

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 9 月 1 9 日（土） 午後 2 時～ 3 時 3 0 分
場 所 大原自治会館（大原自治会）
参加者 3 9 人



主な意見等

参加者 サービスセンターを月に 2 回ほど利用していますが、利用の 6 か月前に予約をする時にサービスセンターに伺った際、メンテナンス等のため使えない日程があると言われることが年に何回かあります。ホームページにも先のことは掲載されていません。予約で伺った際に伝えるのではなく、事前に決まっているのであれば周知をしっかりとしてほしいです。

市 長 おっしゃる通りです。軽微な修繕等なら夜間や休館日に行うようにしています。規模が大きいものは契約や工事スケジュール等で難しいこともあるかもしれませんが、できるだけ早めに周知するように担当課へ伝えます。

参加者 ステラ・イーストの喫茶店についてですが、土・日曜日が定休日にて真っ暗になっており、入れないようになっています。土・日曜日は利用者が多く、たくさんの人であふれてしまい、休憩もできない状態になっています。喫茶店が休みの時でも休憩スペースとして使えるようにしていただきたいです。

市 長 あそこは福祉喫茶ということで、障がいのある方々の就労支援の場として、障がい者支援を行っている団体をお願いをしています。休みの日は休憩できるスペースとして利用できるはずだったと思います

が、確認してできるよう調整したいと思います。

参加者 ふじみ野市には自治組織が58あるけれども加入率は37%ということ協働推進課で聞きました。非常に低いと感じました。少子高齢化・ライフスタイルの多様化・若者の自治会離れ等が原因ではないかと思いますが、そうすると10年、20年後に自治組織そのものがやっていけるか不安です。

もう一つ、市長が提唱する「あったかいふじみ野」、非常に良いと思いますが、具体的にもっとわかりやすい言葉にして市民に訴えかけていただけると、結束ができて自治組織もパワーをもらえるのではないのでしょうか。

市長 加入率低下の問題についてはおっしゃる通りで、地域の力というのはやはり大切なものであると認識しています。

若い方でも加入しているという地域もありますが、近所付き合いをしたくないとかメリットはあるのかなどの意見もあります。しかし、子どもの通学路の見守り、災害時の助け合いなど言い尽くせないほどのメリットがあると思います。

台風などで罹災した地域など加入率が高い自治組織もありますが、確かに平均すると37%と低くなっています。災害というのはいつ、どこで起こるかわかりません。こうしたときに、炊き出しや食料配布をしている自治組織に入っている方々が、自治組織に入っていない人に対して、加入していないからだめだということは決して言わないと思います。みんなで率先して助け合っていくという、これがあったかいまちにつながるものだと思いますし、そうでなければいけないと思います。

今のお言葉は重く受けとめまして、市長としてどういう形で表現できるかということを考えないといけないと思います。ありがたいお言葉だと思いますので、改めて肝に銘じていきたいと思います。

参加者 三井住友銀行跡地や東武ストアのあたりも含めて上福岡駅東口が再開発されるとのことですが、どのように変わるのか詳しく教えてください。

市長 現在地権者の方との交渉中であり、その内容次第であるため、構想を示すのは難しい状況です。

本市は昭和30年代後半頃から急成長したまちであり、きちんと区画整理をしながらではなく、昔ながらの農道に家が張りついていった

という経緯があり、発展の速度に行政が追いつけなかったという実情があると思います。あの当時から駅前整備は何とかならないのかと思っていましたが、その中で、駅前のサンロードが昭和55年頃にできました。次は駅前かなと思っていたらピタッと止まってしまい、およそ20年間にわたって駅前整備が行われることがありませんでした。あの時代であれば駅前の整備であったり、開かずの踏切と言われる踏切のエリアも陸橋でもアンダーでも、今よりはやりやすかったのではないかと思います、整備が進まないまま現在までできてしまいました。

当時、地権者が頑張っているから駅前が広がらないという噂もありました。しかし、地権者が頑張っているから広がらないのではなく、行政がやろうとしていないのではないかと、交渉することさえしないのに、地権者のせいにするのは余りにも気の毒だと、集会の際には必ずお伝えをしてきました。

ですから私は、このまちに降り立って、このまちに住みたい、このまちで暮らしていこうと思っていただけるよう、小さな面積であってもまちの玄関口である駅前を、何とかしていきたいという思いで進めてきました。

現在、地権者の方々と交渉中で、三井住友銀行の跡地を代替地としてご利用いただくことには応じていただいておりますが、個別の交渉中ですので、それ以上のお話はできないというのが実態でございます。

東武ストアの件ですが、西友ストアの跡地は東武鉄道が買収し、15階建てのマンションが建つ予定となっております。東武ストアについては建て替えをして、マンションとつなぐ整備をしていくと聞いております。

また、東武ストアの横から北野方面に抜ける細い4mぐらいの道路ですが、あそこは東武鉄道の敷地です。そこを市の管理で通行させていただいていたという状況です。計画の中ではあそこがマンションの駐車場に入る入口になること、さらに少し拡幅して緑道的なものをつけて、歩行者や自転車の通行を維持していただけるようです。

開かずの踏切については、陸橋やアンダーを何百億円もかけて整備するというのは、これからの20年、30年後を考えたら、本当に必要なのだろうか、むしろ歩行者や自転車を押しながら通れるような小

さな地下道や、あるいはエレベーターを使って移動できるようにできればいいなと思い描いています。恐らく車の台数というのが今後減ってくると思いますし、あの踏切だけで何百億円掛けるのであれば、もっと違ったところで、貴重な皆さんのお金の使い方をしっかり考えなければいけないと思っています。

皆さんが知りたいのは、駅前がどう変わっていくのかということだと思いますので、将来像が示せるようになった折には、示させていただきたいと思っています。

参加者 私からは2点あります。一点目は集会所の維持管理についてです。今後、所有から使用へという市長のお話を伺いました。市へ所有権を移転し、住民の皆さんに使用をしてもらうということは非常にありがたいです。例えば、修理するにも新築するにも何千万もかかるところを市の所有にしてもらえると維持管理をやってもらえる。これは令和10年度からとお聞きました。大原自治会館は45年も経っておりまして、雨漏りもするような危険性もあります。順番や予算もあることでしょうが、ぜひ所有から使用へという方向に積極的にやっていただければなと思います。

2点目については隅切りについてです。角地の大きな家には隅切りがないことが多いです。特に大原地区は4m道路が多く、緊急車両が入れないところがたくさんあるので、何とかしてもらいたいです。

イオンタウンやヤオコーができて自転車や車が多く通ります。事故の危険もあります。特に今後買われる方については、隅切りがあるかわからないので、施工業者にやっていただくようにしないといけないと思います。大原は災害が多い、住みづらいと言われかねませんので、建築課が何か指導等はできないか、または自治会にお話をいただいてお願いをするなど、減災・防災の一助になればと思いますので、検討をいただきたいと思います。

市長 まず、隅切りの話ですが、今建っているお宅に切ってくれと言っても難しいので、今のお話のとおり、業者や個人の方が購入されて、そこで立てられるという話になったときには、隅切りのご協力をお願いしているというのが実態です。我々も継続的に行っていきたいと思っています。

次に集会所の維持管理についてです。合併前の旧上福岡市では自治組織毎に集会所を持っていました。一方で旧大井町では大半の自治組

織町内会が公民館の分館という形で町が作って維持管理をしているところをいくつかの自治組織がその地区にある分館を集会所として使っていました。

合併後、自治組織の会長の西地区と東地区でやり方が違うから不公平じゃないかという話から始まり、何とか解消していこうとなりました。しかし合併を進める中で、千項目近い項目を調整してまいりましたが、この大事な地域コミュニティについては、こっちのやり方がいい、あっちのやり方がいいということを市役所では言えないので、手つかずになっていました。ですが、もうこれだけ時間が経ったのだからやらなきゃいけないということで、自治組織連合会の正副会長さんに協力をいただき、考えてまいりました。

私が常に言っていたのは、どちらの方式に片寄せするのではなく、両方のいいところをとってふじみ野市流をつくりましょうということです。

市の普通財産になっても、市民である皆さんの財産であることに変わりはありません。ですので、それを皆さんに大切に使っていただきたいと思います。また市に寄付したからいきなり建替えますということでもありません。市民の財産として、修繕すれば使えるのであれば、修繕にとどめて、建て替えが必要となった時には建て替えをしていくということです。

建て替えたばかりの自治会は、建て替えたばかりなのに市にあげるのかという誤解もあると思いますので、一定程度移行期間を設けて、そろそろ所有権は市に移して、自分たちで使用するという判断をしていただいたら、その際に市に移管していただくということで考えています。

集会所を建てるときに寄付金を出した方、その中でも既に転居されている方、最近転居され加入された方、みんなでやってきた、それをみんなで守っていくことが大事なことだと思います。